INFORMATION　[期間：平成26年]

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 金沢大学十全医学会 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/36837

INFORMATION

【期間：平成26年】

第30回日本臨床細胞学会石川県支部学術集会

開催日：平成26年2月2日（日）11時から18時
開催場所：金沢医療センター講堂（外来管理診療棟3階）金沢市下石引町1-1
内　容：・一般演題
　　・スライドセミナー
　　・教育講演「細胞診・生検で overdiagnosis されやすい子宮頸部及び子宮内膜病変の病理」
　　国立病院機構　名古屋医療センター　病理診断科　　森谷鈴子先生
世話人：国立病院機構　金沢医療センター　臨床検査科・病理科　　笠島　里美
連絡先：TEL 076-262-4161（代表）　FAX　076-222-2758

ゲノム機能解析分野サイエンスセミナー

「単一細胞追跡システムを用いたエピジェネティックな遺伝子発現制御機構の解明」
　沖　昌也先生（福井大学大学院　工学研究科　生物応用化学専攻）
日　時：平成26年2月7日（金）16：00～17：00　　場　所：金沢大学医学図書館　2階 十全記念スタジオ
連絡先：学際科学実験センター　ゲノム機能解析分野　堀家　慎一（TEL：076-265-2775）E-mail：sihorike@staff.kanazawa-u.ac.jp
　沖先生は，真核生物の1つである「出芽酵母」をモデル生物として用い，出芽酵母染色体上でのエピジェネティックな遺伝子発現の切替メカニズムの解析を進めています．本講演では，これまで得られた結果をもとに，ヘテロクロマチン領域の揺らぎとエピジェネティックな発現制御機構の関係について最新の知見を報告しました．

第24回金沢歯科口腔外科懇話会

　金沢歯科口腔外科懇話会は，平成3年に金沢大学歯科口腔外科研修会としてスタートし，毎年回を重ね今年で24回になります．この会は金沢大学附属病院歯科口腔外科に患者さんを紹介してくださった先生と同窓の先生が集まり，歯科口腔外科の臨床と研究に関する研修を行う事を目的としています．本年は，金沢大学附属病院歯科口腔外科から19題の一般演題と特別講演を予定しています．本年の特別講演は金沢医科大学顎口腔外科教授の瀬上夏樹先生にお願いしました．「わたくしと口腔外科，顎関節外科」と題して，顎関節疾患の最先端の診療についてのとても興味深いお話が聞けます．また，瀬上教授の35年間の口腔外科の臨床経験についてもお話しいただけることになっています．
日　時：平成26年2月15日（土）　　場　所：金沢エクセルホテル東急にて開催予定
問い合わせ先：金沢大学歯科口腔外科医局　TEL：265-2444

脳情報分子学セミナー

テ ー マ：ニューログロビンの生理機能の探索と新規機能性蛋白質の創製
講 演 者：若杉　桂輔先生（東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻生命環境科学系　准教授）
開催日時：平成26年2月17日（月）午後5時～
開催場所：金沢大学医学類　F棟　修士課程セミナー室
講演内容：ヒト脳神経細胞に存在するニューログロビン(Ngb)には酸化ストレスに伴う細胞死を防ぐ働きがある．我々はヒトNgbが酸化ストレス応答性のセンサー蛋白質として機能し，酸化ストレスに伴い立体構造を大きく変化させヘテロ三量体G蛋白質αサブユニット(Gαi/0)に結合し「GDP解離阻害因子(GDI)」として働くことにより細胞死を防ぐことを明らかにした．また，魚類Ngbには細胞外から細胞質内に自ら移行する「細胞膜透過能」があることを発見した．さらに，モジュール構造に基づく蛋白質工学的手法を駆使することにより，培地に加えるだけで細胞質内に導入されしかも神経細胞を保護する新規人工機能性蛋白質を創製した．